

日本伝統文化塾

# 日本の神様と 舞い踊ろう

〜地域に根付く神楽と神舞〜



■平成27年11月3日〈火・祝〉

13時開演(15時終演予定)

■会場:大濠公園能楽堂

◆主催…  公益財団法人 福岡文化財団  ココロがある。コトエがある。 西日本シティ銀行

◆後援… 福岡県/福岡県教育委員会/  
公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団/西日本新聞社

◆参加団体… つくし神舞 宮地嶽神社/巫女舞 太宰府天満宮/飯場神楽 大山祇神社/  
岩戸神楽 伏見神社/宇美神楽 宇美八幡宮/草ヶ江太鼓

鑑賞者無料ご招待(全自由席)



## 申込方法

【招待者数】 400名様/応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

※ご招待決定および当選発表は、招待券の発送をもって通知に代えさせていただきます。(10月発送予定)招待券を当日ご持参ください。  
※ご記入いただいた個人情報は当事業の運営以外には使用いたしません。

【応募方法】 ①お名前、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤参加人数(ご本人含む)を明記のうえ、ハガキ、FAX、メールにてお申し込み下さい。  
お申込み1枚につき5名様までお申し込み頂けます。

【応募宛先】 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-13F 西日本新聞メディアラボ 内  
「日本の神様と舞い踊ろう」係 FAX:092-731-2232 E-mail: info@bunka-zaidan.or.jp

【応募締切】 平成27年10月16日(金)当日消印有効

【お問合せ先】 「日本伝統文化塾～日本の神様と舞い踊ろう～」事務局 TEL:092-753-6120

## 【日本伝統文化藝とは】

より多くの方々に、日本伝統芸能に気軽に触れる機会をもって欲しいとの願いをこめて、2007年より様々なジャンルの伝統芸能を紹介しています。今回は、地域に根付いている「神楽」や「神舞」を、わかりやすい解説付きで紹介します。

### ◆参加団体のご紹介(順不同)◆



#### つくし神舞 宮地嶽神社 (福津市) 【演目】つくし神舞

創建以来1600年を数える「安曇族」の聖地宮地嶽神社に8世紀前半から奉納されていたとされる「つくし神舞」は神官だけが舞うことが出来る九州王朝の宮廷舞です。日本の舞では目にする事が出来ない跳躍や回転の振付など独特の足づかいが特徴です。

現在では毎年10月22日、宮地嶽神社拜殿前に特設舞台を作り九州王朝の神舞「つくし神舞」が奉納され、地元の人たちははじめ多くの観光客を魅了しています。



#### 巫女舞 太宰府天満宮 (太宰府市) 【演目】飛梅の舞

「飛梅の舞」は、永年宮内庁楽部長として舞の復興、舞楽の創作や全国の神社の社頭で奉奏された「浦安の舞」の創作など、我が国の神楽舞の復興や作曲・作舞・普及に尽くされた多忠朝氏の長女静子さんが太宰府天満宮のために作曲された曲です。

昭和30年代後半に、「飛梅の舞」を作曲して頂き、昭和42年11月、太宰府天満宮神前で奉納演奏されました。舞う巫女たちはそれぞれに梅の枝を手にして優雅に舞い菅原道真公を偲びます。



#### 飯場神楽 大山祇神社 (福岡市早良区) 【演目】神供、敷蒔

飯場神楽は、明治25年(1892)当時、悪病が流行したため、氏子の安全を願おうと神楽組を結成し奉納したのが始まりと伝えられています。平成10年、神楽の衣装・面・道具など一式が福岡市の「民族文化財・有形民俗文化財」に指定され、一度途絶えていた神楽も平成16年、地元有志の努力によって復活を果たし「飯場神楽保存会」として活動を再開。現在は、成人13名、子ども4名の会員が、月に2回、内野公民館曲淵分館で練習に励んでいます。



#### 岩戸神楽 伏見神社 (那珂川町) 【演目】荒神

伏見神社に奉納される岩戸神楽は、関ヶ原の戦いの後、黒田長政の筑前入以降始まったと言われています。明治維新までは神職によって舞われていましたが、明治13年に山田村の氏子に伝承され、「珍楽舎」と名付けた保存会が現在も活発な活動を続けており、昭和29年福岡県無形文化財第1号の指定を受けています。

岩戸神楽の命和理(曲目)の九番「荒神」と十二番「問答」は、黒鬼・赤鬼が子供をさらって神殿に入ります。鬼に抱かれた子供は無病息災、元気に育つと言われています。



#### 宇美神楽 宇美八幡宮 (宇美町) 【演目】天の磐戸

宇美神楽の由来については諸説ありますが、1798年(寛政10年)の「筑前続風土記付録」にも宇美神楽についての記載がみられます。宇美八幡宮には神楽専任の神職がおり、お祭りの度にご奉仕していましたが、明治34年、当時の神職青木輪之助氏と氏子各位により、現在の神楽座の前身が再興されて現在に至っています。昭和48年、福岡県の無形文化財の指定を受け、小林作五郎氏を会長に町内有志の方により宇美神楽保存会が組織され神楽座の維持・運営に当たっています。現在、神楽座の座員は17名、上演演目は14です。



#### 草ヶ江太鼓 (福岡市中央区)

草ヶ江太鼓は、青少年の健全な育成と地域の発展を目指し、日本古来の楽器である和太鼓を学び伝えることで、日本の伝統文化とふれあう機会を多くの人々に提供することを目的に草ヶ江校区の有志が集まり、平成25年11月に発足致しました。

和太鼓の技術向上だけでなく、子供たち一人一人が和太鼓を通じて礼儀や感謝の心を身につける人格形成に寄与することを目指しています。和太鼓の魅力をより多くの方々と共に味わうことで、地域発展の一助になれば幸いです。



#### 司会: 神田紅

1952年生まれ。早稲田大学中退。1979年二代目神田山陽に入門。89年真打昇進。新ジャンル「芝居講談」を開拓。02年に紅一門を旗揚げ。故郷福岡で講談教室「福岡紅塾」を開講するなど国内外で活発に活動、国宝金印のレプリカを小学校に贈る運動を続け20年になる。14年4月日本講談協会会長に就任。現在理事。